

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第184号	氏名	澤山 靖
学位審査委員	主査 近藤 宇史 副査 上平 憲 副査 森内 浩幸		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、急性骨髄性白血病(AML)に特異的に発現し、診断上重要なマーカーとして位置づけられているミエロペルオキシダーゼ(MPO)と化学療法感受性の関連性を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 MPO 遺伝子を K562 ヒト骨髄性白血病細胞に導入して高発現株を樹立し、本疾患治療に用いられている化学療法剤シトシンアラビノシド(AraC)投与による効果を詳細に検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、AraC 処理による細胞死が MPO 発現細胞で高く、ミトコンドリア膜電位消失や活性酸素種の増大と細胞内タンパクのニトロ化反応の上昇を認め、これらの所見は AML 患者検体でも認められた。MPO 発現の病態的意義を初めて明らかにしたものである。今後の AML 治療への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は臨床血液学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			